防災気象情報

特別警報

警報の発表基準をはるかに超える大雨や大津波等が予想され、重大な災害の起こるおそれが著しく高まっている場合、気象庁は「特別警報」を発表し最大級の警戒を呼びかけます。

◆気象等に関する特別警報の発表基準

現象の種類	基準	
大雨	**台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨**が予想される場合	
暴風	**数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により**	**暴風**が吹くと予想される場合
高潮		**高潮**になると予想される場合
波浪		**高波**になると予想される場合
暴風雪	**数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風**が吹くと予想される場合	
大雪	**数十年に一度の降雪量となる大雪**が予想される場合	

※発表にあたっては、降水量、積雪量、台風の中心気圧、最大風速などについて過去の災害事例に照らして算出した客観的な指標が設けられており、これらの実況および予想に基づいて気象庁が判断します。

◆地震（地震動）・津波に関する特別警報の発表基準

現象の種類	基準
地震（地震動）	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合（**緊急地震速報（震度6弱以上）**を特別警報に位置づける）
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合（**大津波警報**を特別警報に位置づける）

※これらの特別警報は、名称に「特別警報」は用いず、従来どおりの名称で発表します。

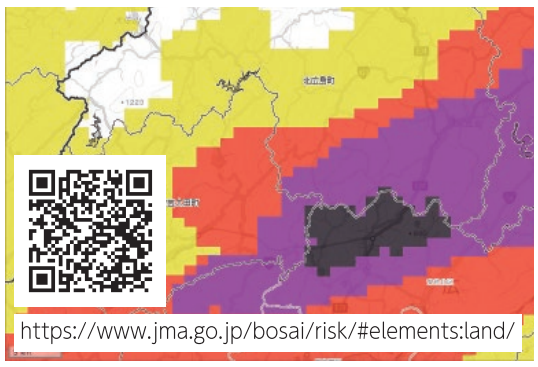
特別警報が発表されたら

- ❗尋常でない大雨や暴風等が予想されています。
- ❗重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ❗ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

キキクル（危険度分布）

どこで土砂災害や浸水害、洪水災害の危険度が高まっているかを知ることができる、命を守るための情報です。

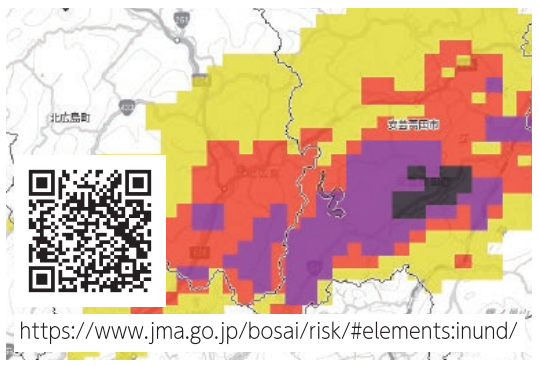
土砂キキクル 大雨警報（土砂災害）の危険度分布



https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land/

紫：崖・渓流の近くは危険

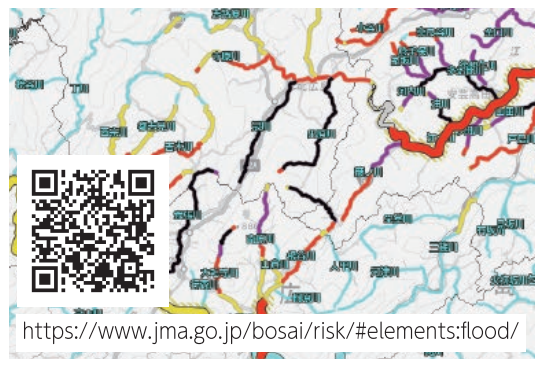
浸水キキクル 大雨警報（浸水害）の危険度分布



https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:inund/

紫：低地は危険

洪水キキクル 洪水警報の危険度分布



https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood/

紫：河川沿いは危険

※使用している携帯電話・アプリケーションによっては二次元コードの読み取りができない場合があります。

土砂災害警戒情報

大雨警報（土砂災害）の発表後、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、都道府県と気象庁が共同で発表しています。**危険な場所からの避難が必要な警戒レベル４に相当します。**

記録的短時間大雨情報

数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を、観測したり、解析したりしたときに発表します。この情報は、**現在の降雨がその地域にとって土砂災害や浸水害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることをお知らせするために、大雨警報発表中に、キキクル（危険度分布）の「危険」（紫）が出現している場合に気象庁から発表されます。**

顕著な大雨に関する気象情報

大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続いている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する情報です。この情報は**警戒レベル４相当以上**の状況で発表します。

（ページ内の図表は内閣府・気象庁ホームページより抜粋、編集）